

神奈川県ビリヤード協会 -議事録-

2022.04.14 13:00～ Zoom 会議

参加者：安藤・崎村・片岡・浦野・丸岡・田口・石井・杉万



| 1

- 議 題
- ①KBA の現状と課題 協会について勉強会
 - ②KBA の課題 なぜ活動できないのか
 - ③浦野さんより活動に関してのご意見
 - ④ポケットの試合について

①KBA の現状と課題 協会について勉強会

事前資料の読上げと補足説明（石井・杉万）

②KBA の課題 なぜ活動できないのか

事務局が考える要因と課題

・なぜ動けないのか 動けないのか動かないのか

理事長ありきの動きを変えていく。理事長が抱えすぎている。実行権限を理事へ譲渡。

アイデアが出て事務局がボトルネックとなり、緊急案件からしか処理できない。そもそも全て事務局では無理がある。

企画→理事会承認→実行→結果 PDCA サイクルの考え方

実行は現理事 スケジュール管理タスク管理にマネージャー職を設け進捗の確認。

実行日が決まったら、マネージャーがタスク割とスケジュール管理を行い進捗の確認を各担当にしていく

マネージャー → 杉万 将来的にはマネージャー候補を募集し、教育していきたい。

③浦野さんより活動に関してのご意見

試合を増やして収益を上げることについて、税務的に大丈夫なのか？

→NBA の下部組織として会計報告は NBA に毎年提出している。

大丈夫かどうかは念のため税理士に一度確認してみる（石井・安藤）⇒板橋さんより回答あり※参照

大会前に予算案を要項と一緒に公開するのはどうか 目的：公共性アピール、会計がクリアであることをアピール。

活動の理念を HP トップに掲げた方がよい。活動理念が一番大事

公益社団法人としての公益性のある活動をアピールしてはどうか。例えば宝くじのように

試合で得た収益の使い道を明確に公開していくなど。

小学校への台の設置・ジュニアヘキューのプレゼント・シニア向けの教室 公益性のある活動をアピール

④ポケットの試合について

CS カードの必要性

KBA 主催の試合・イベントには CS カードは必須なのか、であればビギナーやシニアなどの試合が難しい (杉万)

NBA に確認したところ、グレーゾーン 強くは言えないし罰則もないと回答 (安藤)

CS カードの魅力を感じてもらうためにもエントリーフィーに差をつけてみてはどうか (杉万)

CS カード必須の試合・あったらお得だがなくても参加できる試合・いらぬ試合

のグレードをつけてはどうか (片岡) →賛成

グレード 1 CS カード必須 代表選抜等

グレード 2 CS カード差別化 BC 他

グレード 3 CS カード不要 シニア教室・ビギナー戦等

安藤さん・丸岡さん企画の BC 戦について

5 月の連休に企画していた試合については間に合わないため白紙 (安藤)

新規第 1 号の試合という事で、店舗対抗をお祭りのな感じに 1 日開催でやってみてはどうか (丸岡)

→企画書を出してもらって話を進めましょう

企画書を手書きで大丈夫なので具体的な内容を記入して事務局へ Fax

企画書が到着したら理事会の日程を調整してご連絡いたします (杉万)

※今回参加できなかった板橋さんより電話があり、税務上の考え方を教えてもらいました。

NBA=公益社団法人 (公益性を目的とした非営利 団体)

非営利・公益の考え方をよく理解して活動してくださいとのことでした。

NBA 含め KBA もですが、非営利団体としての活動であり、公益性が今のところ見受けられない。

現状の KBA → 非営利活動 大会で得た収益を代表者補助、運営費、などに利用 OK

団体内での利益循環

ただし収益を執行部で分配するのは **NG**

日当・予算に組んだ人件費 **OK** 成功報酬・理事手当 **NG**

目指すべき KBA→公益性のある活動

例) 小学校・老人ホームへの台の設置・ジュニアヘキューのプレゼント・シニア向けの教室

直接的にビリヤード業界への利益にはならないもの

③でお伺いがあった税務的な問題はありますが、公益性のある活動がないのは問題です。